



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 北陸電気工業株式会社  
 コード番号 6989 URL <https://www.hdk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田守男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 林 良徳  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 076-467-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,121	4.0	526	103.5	455	33.3	310	44.3
2019年3月期第2四半期	20,964	2.9	258	54.9	683	0.4	215	64.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 64百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 55百万円 ( 92.2% )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	37.09	
2019年3月期第2四半期	25.69	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	36,464	12,324	33.8
2019年3月期	40,491	12,641	31.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,316百万円 2019年3月期 12,633百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		30.00	30.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	2.3	1,400	4.2	1,300	16.9	900	15.9	107.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	9,250,099 株	2019年3月期	9,250,099 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	874,426 株	2019年3月期	874,133 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	8,375,906 株	2019年3月期2Q	8,376,767 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国では堅調な個人消費が下支えし、景気は底堅く推移したものの、欧州は製造業の低迷が長期化し、中国は米国による関税上げにより輸出が低迷し、内需も弱い状況が続きました。

わが国におきましては、個人消費は緩やかな持ち直し基調となりましたが、外需が弱含む中、輸出は低調に推移しました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、情報通信機器関連の停滞基調が続き、車載関連も電子化が進んでいるものの、自動車の生産台数が世界的に減少したことから、電子部品需要は弱含みで推移しました。

こうした状況のなかで、当社グループにおきましては、新規分野への拡販を図る一方、引続き生産効率の改善に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高はモジュール製品の停滞を主因に、20,121百万円（前年同期比△4.0%）となりましたが、生産性の向上を主因に、営業利益は526百万円（同+103.5%）となりました。

また、円高ドル安シフトに伴い、為替差損118百万円を営業外費用に計上したことから、経常利益455百万円（同△33.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益310百万円（同+44.3%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①電子部品

電子部品は、全般的な海外需要の不振に伴い、各品種総じて受注が減速したことから、モジュール製品の売上は停滞したものの、汎用部品の生産性向上を主因に、売上高19,686百万円（前年同期比△3.8%）、営業利益997百万円（同+42.9%）となりました。

#### ②金型・機械設備

金型・機械設備は、金型受注がアミューズメント向けに振るわず、機械設備の売上も停滞したことから、売上高433百万円（同△7.9%）、営業利益14百万円（同△51.8%）となりました。

#### ③その他

その他は、商品仕入及び不動産業等にかかる事業であり、売上高は285百万円（同+15.9%）となり、営業利益は61百万円（同+8.2%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末は、世界経済の減速に伴う受注減により生産水準が低下したことから、前連結会計年度末に比べ、売上債権が減少し、得られた資金を借入金返済に充当したことを主因に、総資産は4,027百万円減少し、負債は3,711百万円減少しました。

純資産は前連結会計年度末に比べ、株主資本が、親会社株主に帰属する四半期純利益により310百万円増加し、剰余金の配当により251百万円減少したことから、59百万円増加しましたが、その他の包括利益累計額が、株安によるその他有価証券評価差額金の減少およびアジア通貨安円高による為替換算調整勘定の減少を主因に、375百万円の減少となったため、316百万円の減少となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フロー3,554百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー△290百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー△2,546百万円となり、現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末に比べ664百万円増加し、4,668百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、2019年5月10日の公表から変更ありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,257	5,854
受取手形及び売掛金	13,259	9,815
商品及び製品	1,443	1,372
仕掛品	2,828	2,709
原材料及び貯蔵品	2,533	2,250
その他	1,695	782
貸倒引当金	△16	△21
流動資産合計	27,000	22,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,585	2,638
機械装置及び運搬具(純額)	3,545	3,727
土地	2,921	2,918
その他(純額)	292	305
有形固定資産合計	9,344	9,590
無形固定資産	388	507
投資その他の資産		
投資有価証券	1,141	1,001
繰延税金資産	1,423	1,447
その他	1,386	1,346
貸倒引当金	△194	△192
投資その他の資産合計	3,757	3,602
固定資産合計	13,490	13,700
資産合計	40,491	36,464

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,601	5,860
短期借入金	6,575	5,678
未払法人税等	227	154
賞与引当金	404	417
その他	1,448	1,744
流動負債合計	16,256	13,856
固定負債		
長期借入金	5,895	4,601
リース債務	483	564
繰延税金負債	3	2
再評価に係る繰延税金負債	327	327
退職給付に係る負債	4,754	4,661
その他	128	126
固定負債合計	11,593	10,283
負債合計	27,850	24,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,200	5,200
資本剰余金	5,038	5,038
利益剰余金	3,207	3,266
自己株式	△1,152	△1,152
株主資本合計	12,294	12,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	△128
土地再評価差額金	685	685
為替換算調整勘定	△75	△353
退職給付に係る調整累計額	△262	△239
その他の包括利益累計額合計	339	△36
非支配株主持分	7	7
純資産合計	12,641	12,324
負債純資産合計	40,491	36,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	20,964	20,121
売上原価	18,189	17,071
売上総利益	2,775	3,050
販売費及び一般管理費	2,516	2,523
営業利益	258	526
営業外収益		
受取利息	35	34
受取配当金	42	45
為替差益	397	—
その他	69	68
営業外収益合計	545	148
営業外費用		
支払利息	47	36
為替差損	—	118
損害賠償金	36	24
その他	37	39
営業外費用合計	120	218
経常利益	683	455
特別利益		
固定資産売却益	0	1
保険解約返戻金	2	5
特別利益合計	3	6
特別損失		
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	8	18
訴訟和解金	320	—
その他	3	1
特別損失合計	337	19
税金等調整前四半期純利益	349	442
法人税等	134	131
四半期純利益	215	310
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	215	310

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	215	310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	△120
為替換算調整勘定	△241	△278
退職給付に係る調整額	28	23
その他の包括利益合計	△160	△375
四半期包括利益	55	△64
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55	△65
非支配株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	349	442
減価償却費	503	562
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△49	△93
受取利息及び受取配当金	△78	△79
支払利息	47	36
為替差損益 (△は益)	△122	10
固定資産売却損益 (△は益)	4	△1
固定資産除却損	8	18
保険解約返戻金	△2	△5
割増退職金	2	—
訴訟和解金	320	—
損害賠償金	36	24
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,634	3,259
たな卸資産の増減額 (△は増加)	229	373
仕入債務の増減額 (△は減少)	△225	△1,668
未収消費税等の増減額 (△は増加)	459	532
その他	722	472
小計	585	3,900
利息及び配当金の受取額	78	79
利息の支払額	△46	△35
法人税等の支払額	△114	△264
保険解約返戻金の受取額	2	5
損害賠償金の支払額	—	△24
割増退職金の支払額	△2	—
訴訟和解金の支払額	△210	△106
営業活動によるキャッシュ・フロー	293	3,554
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△411	△370
固定資産の売却による収入	10	2
投資有価証券の取得による支出	△0	△2
貸付けによる支出	△28	△25
貸付金の回収による収入	9	31
定期預金の純増減額 (△は増加)	△54	—
その他	△32	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△509	△290

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,226	△682
長期借入金の返済による支出	△1,408	△1,509
リース債務の返済による支出	△65	△103
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△251	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,952	△2,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	△52
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,110	664
現金及び現金同等物の期首残高	7,836	4,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,725	4,668

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。また、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,457	329	20,787	177	20,964	—	20,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	141	141	69	210	△210	—
計	20,457	471	20,929	246	21,175	△210	20,964
セグメント利益	698	29	727	56	783	△525	258

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。
2. セグメント利益の調整額△525百万円には、セグメント間取引消去26百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△551百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,686	218	19,905	216	20,121	—	20,121
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	214	214	69	284	△284	—
計	19,686	433	20,120	285	20,406	△284	20,121
セグメント利益	997	14	1,011	61	1,072	△546	526

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。
2. セグメント利益の調整額△546百万円には、セグメント間取引消去37百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△583百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。